

この日、私は訓練
のためとある森に
訪れていた

その最中、突如
として、アナコンダが
私に襲いかかってきた

な、何だ!?

うわっ!!

うあああ!!





ぐああ!!



うぐっ!!



このお……!

くっ!!

放せえ!

しまった……
捕まってしまった……!



放せ!!
さもないと……!



くそー!



あぐっ!!

うああ!!



うぐっ!!

くそー!!



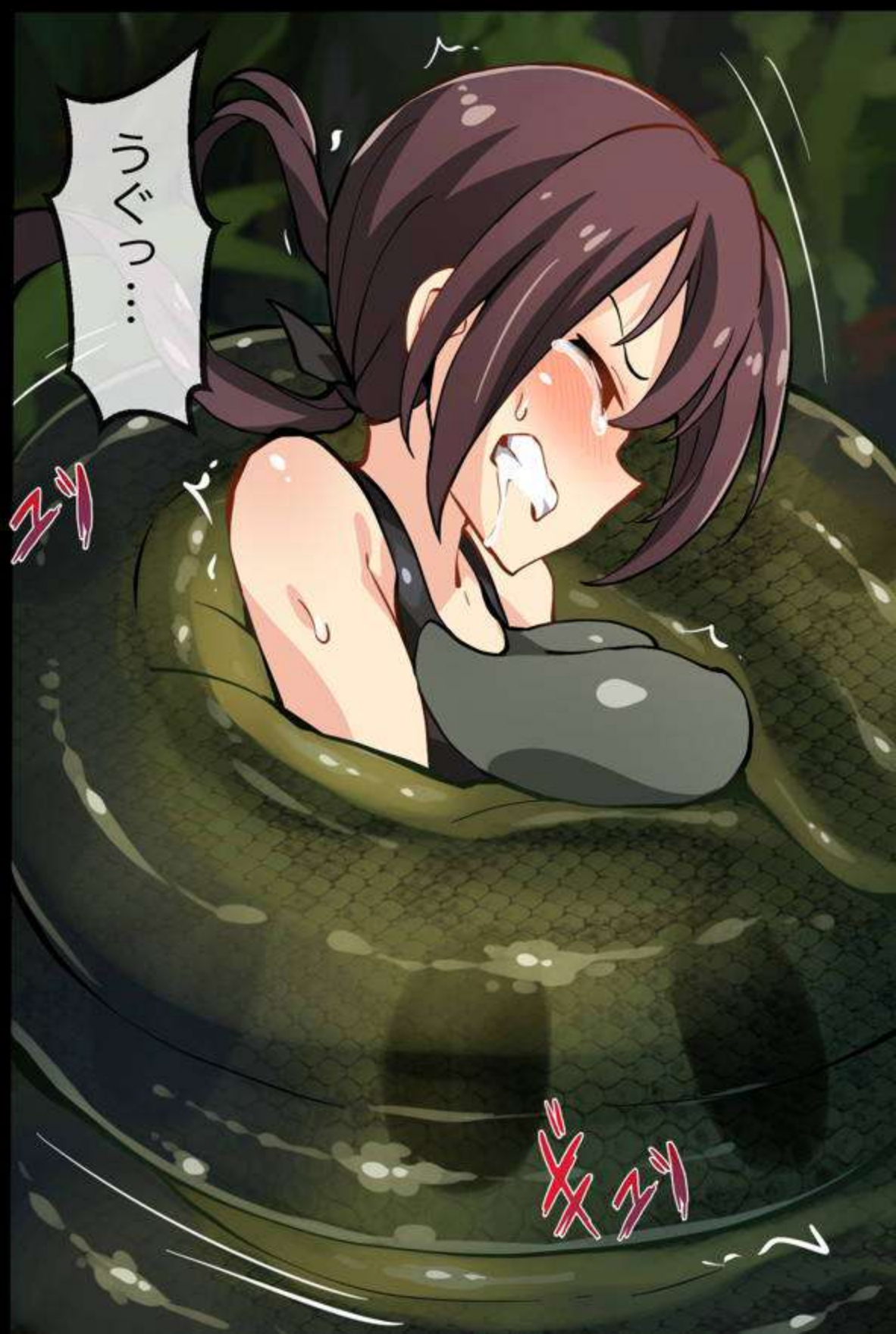
...ん...

...ん...

こいつ...
いい加減に...

ぐあああ!!



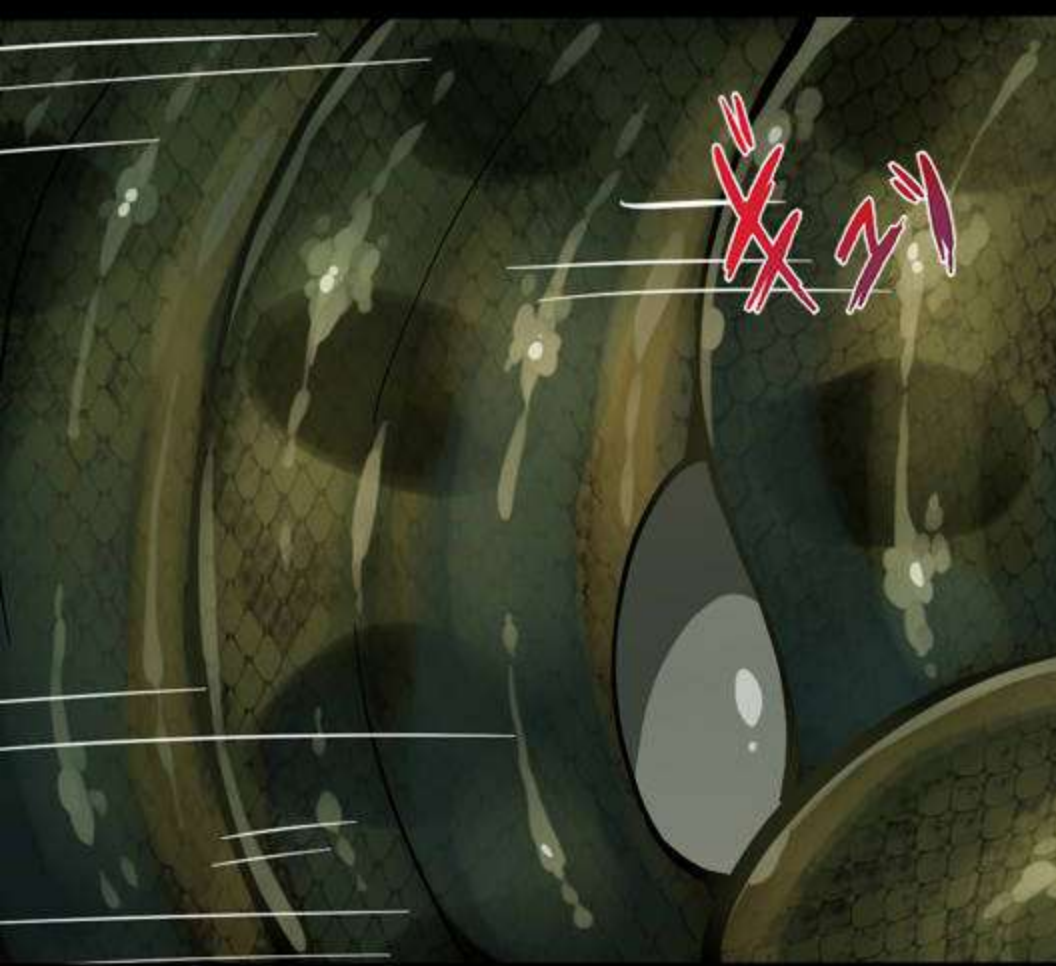




ひびくー!

うああああ!

あぐっ!!



締め付けは尚も
続いていく…



があああ!!

意識が無くなりつつ
あっても…



う…く…



ぐああ!!



ギョッ



うあ!!

あああ!!

もう私には、抵抗する
力も残っていない…

このまま私は、締め
殺されるんだ…







ググ

ん…ん…んっ!!

イホ



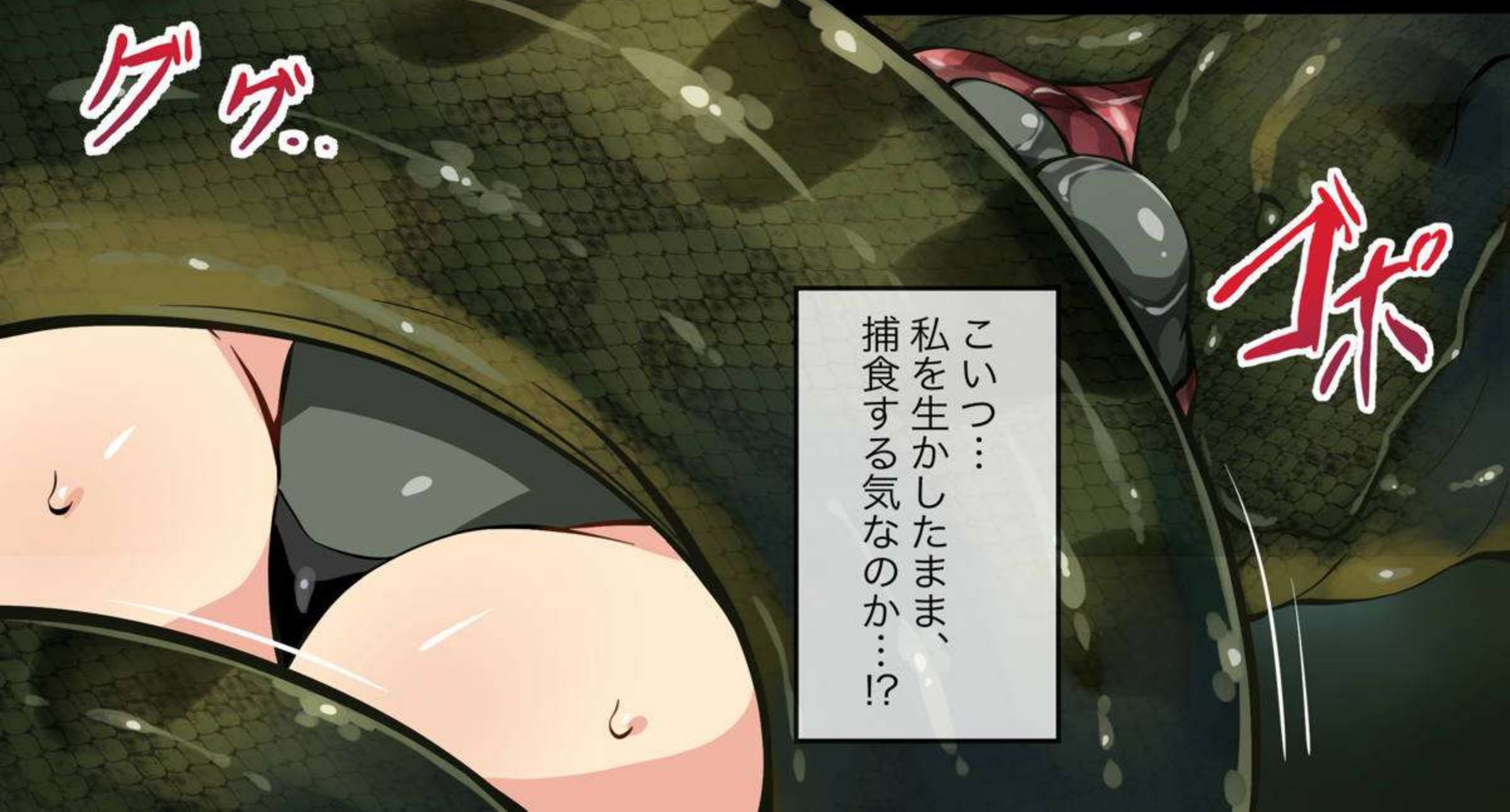
むぐっ!?

イグッ



私を呑み込もうとしている…

うああ!!



ググ。

こいつ…私を生かしたまま、捕食する気なのか…!?

イホ



んんんっ!!

んんんっ!!

イグッ



なんとかしなきゃ...

うああ!!

トクッ...

このままじゃ、
全身を呑み込まれる...

苦っ...

グッ...

ホッ...

トクッ...



全身…
呑み込まれてしまった…

これが、
アナコンダの体内…。
なんて臭いだ…。

狭くて息苦しい…
全身がネバネバして
気持ち悪い…

グッ…

はあ…

はあ…

トクッ…

うっ…

くっ…

トクッ…

い、嫌だ…
このまま消化されるなんて
絶対に嫌だ…！

ズズ

ズズ

どんどん奥に
呑み込まれていく…



ドクッ

う、動きが止まった？

はあ…

はあ…

肉壁の締め付けが緩くなってきた。ここが胃袋なのか？

ガッ

ドクッ

今なら身体を動かせる

ドクッ

吐き出してもらえないかもしれない

ん…くっ！

んんっ！！

ここで暴れたら消化される前に

ガッ

ドクッ



うぐっ！

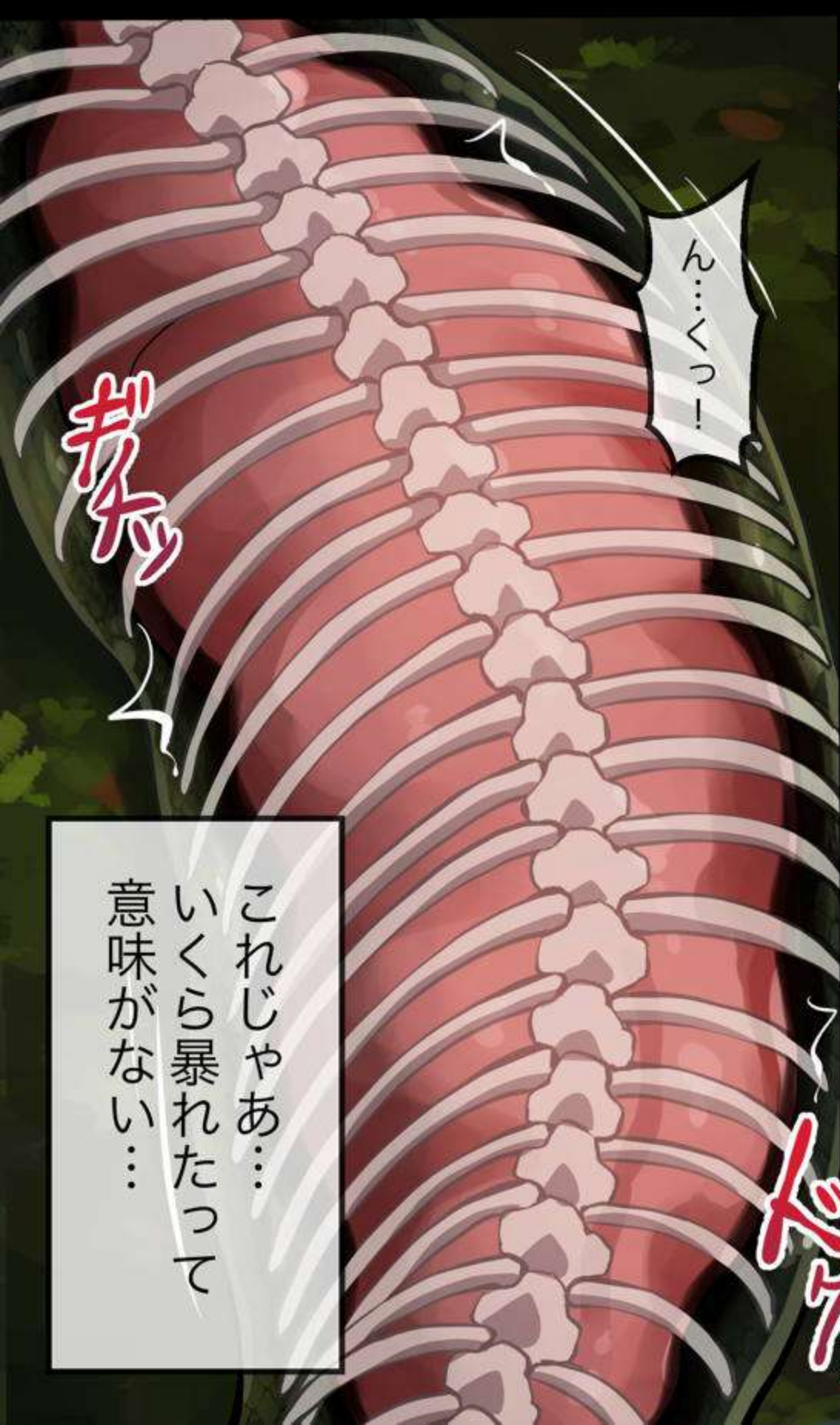
ドクッ

ガッ



うあっ！

この硬い感触…
そうだ…胃袋の外側が
骨で覆われているんだ…



ん…くっ！

ガッ

ドクッ

これじゃあ…
いくら暴れたって
意味がない…



くっ！

ドクッ

だめだ…
びくともしない…

ぐっ…じゅっ…

ガッ

ドクッ

こんなに激しく抵抗
しているのに
何故びくともしないんだ…



このままじゃ、
本当に消化されて
しまう…

うぐっ!!

ん…くっ!!



もう私には、
どうすることもでき
ないのか…

うぐっ…

うぐっ…

んっ!!



ドグッ

うぐっ!!

ドグッ

数時間後



ボムッ



もう身体を動かさせない。
自力での脱出は不可能だ…

ボムッ

あがっ…

ギョ

ああ…

ギョ

ギョ

うあ…

ドムッ



うぐっ…

アナコンダが完全に
私を消化するまで
恐らくあと数日…



ん…くっ…

ドムッ



こんなところで…
死んで…たまるか…

くっ…

ギョ

絶対に…
耐えてやる…

ドク

うっ…



救助は必ず来る…

うあっ…

ギョ

ドク

ドク



こんなやつに…
絶対に…屈し…
な…い…

ギョ

うっ…

ドク